

第19回 北海道教育大学 へき地・小規模校教育推進フォーラム 2021

ICT 活用教育でへき地教育はどのように変わるか
-令和の日本型教育に向けたへき地・小規模校の挑戦-

開催のおしらせ

- 日 時 令和3年11月12日（金）15時30分～17時30分
- 主 催 北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター
- 共 催 北海道教育大学未来の学び協創研究センター
全国へき地教育研究連盟
- 参加方式 同時双方向型（Zoom）及び対面型のハイブリッド
- 参加料 無料
- 対面式会場 北海道教育大学札幌校第1・2会議室
- 申込期限 令和3年11月5日（金）
- 申込先 北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センターHP

裏面へ続く 



URL : https://www.hokkyodai.ac.jp/edu_center_remoteplace/

期限までに、申込フォームよりお申込みください。

※申し込まれた方に、フォーラム前日までにオンライン参加のためのZoomのミーティングURLをメールによりお送りします。多くの方のご参加をお待ちしております。

● 趣 旨

GIGAスクール構想により、学校教育は新しい教育活動を取り入れる時代に入った。その中でも、へき地・小規模校では小規模性・遠隔性のデメリットを克服しメリットを伸ばすために、早くからICTを活用した遠隔双方向教育や個別最適化教育を推進している。これによる教育活動内容の多様化と教育効果も広がりを見せている。このようなICT教育で、へき地・小規模校は何ができるか、どのように変わっていくかを捉えたい。

● 発表テーマとパネリスト

- ◇ 「へき地・小規模校でICTを活用すると何ができるか」
豊田 充崇 氏（和歌山大学教授）
- ◇ 「ICT活用教育でへき地教育はどのように変わるか」
福 宏人 氏（鹿児島県徳之島町教育長）
- ◇ 「へき地・小規模校のICT教育を教育委員会としてどのように推進していくか」
十河 昌寛 氏（北海道積丹町教育長）
- ◇ 「大学でへき地・小規模校に対応したICT活用指導力をいかに養成するか
—遠隔地をつなぐへき地複式模擬授業を通じて」
前田 賢次（北海道教育大学札幌校准教授）

司会 赤間 幸人（北海道教育大学教職大学院特任教授）

- そ の 他 本フォーラムは、記録として録画し、全国に配信する予定です。
予めご了承ください。

【お問合せ先】 北海道教育大学教育研究支援部連携推進課（担当 小林）
電話：011-778-0942 ファクス 011-778-8376
E-mail：crc@j.hokkyodai.ac.jp